

■効果の見える河川事業

□徳島県 桑野川広域基幹河川改修事業

～安全で安心できる未来に向けた川づくり～

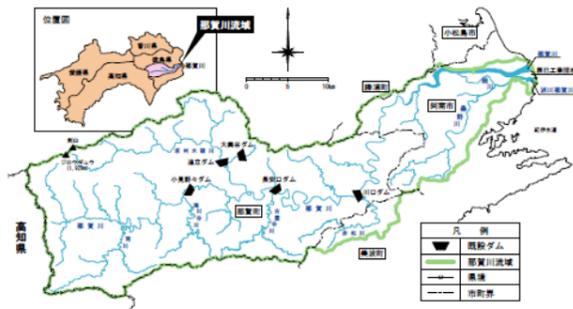
徳島県南部総合県民局県土整備部長

柳本 敏雄



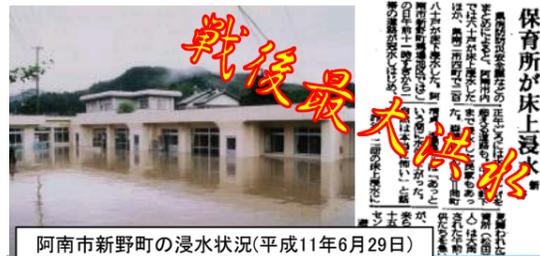
○事業概要 桑野川は、本県中南部に位置する那賀川下流圏域のほぼ中央を流れる流路延長約25.4km、流域面積約67.5km²の一級河川です。
流域においては、昭和40年9月洪水など、台風や前線による集中豪雨による被害が頻発しているため、下流端の派川那賀川合流点から7.0km地点を境に、下流を国直轄管理区間、上流を県管理区間としており、県においては昭和31年度から中小河川改修事業、平成10年度から現在の広域基幹河川改修事業により整備を進めてきました。
しかし平成10年5月～11年6月までの僅か1年余りの間に3度もの甚大な水害を被ったことから、平成11年度より4箇年で桑野川災害復旧等関連緊急事業による引堤整備を実施、現在は広域基幹河川改修事業により、改修区間上流端の一連区間において引堤及び狭窄部の改築を実施しております。また国管理区間においては、平成14年度から桑野川床上浸水対策特別緊急事業による引堤及び排水機場を整備するなど、地域一体となって流域の治水安全度の向上に努めているところです。
そのほか桑野川においては、水位情報の周知や浸水想定区域の公表等のソフト対策により、流域住民への防災情報を提供し、浸水被害の軽減を図っております。

- 施工箇所 阿南市上荒井～入田
- 施工期間 昭和31年度～平成25年度
- 施工内容 施工延長 L=9.75km
河道掘削、築堤、水門、取水堰改築



阿南市富岡町の浸水状況(昭和40年9月14日)

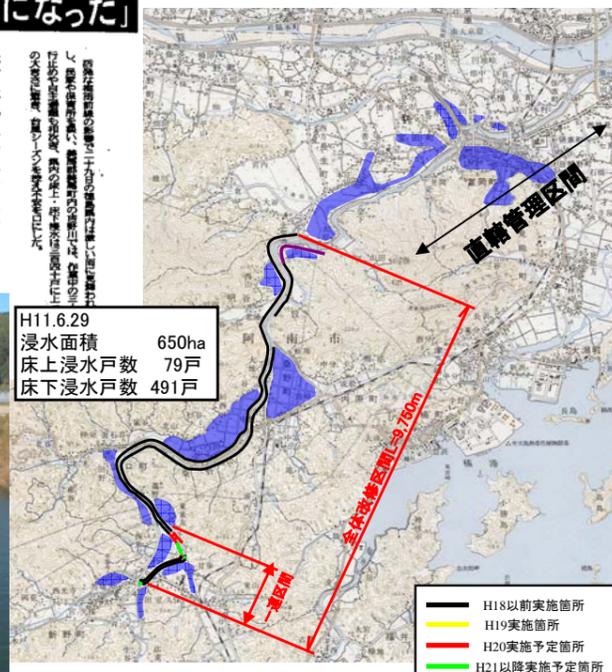
「町全体が川になった」



阿南市新野町の浸水状況(平成11年6月29日)



引堤・河道掘削の整備完了状況



□「桑野川の河川整備に期待すること」

徳島県阿南市長

岩浅 嘉仁



阿南市は、徳島県の南東部に位置し、東は紀伊水道、南は太平洋に臨み北は那賀川に沿って隣町に隣接し、西は四国山系の東端に連なる山地と沖積平野からなっています。
行政区域面積は279.39km²で、人口は7万8千余。徳島県南部の産業・経済・文化の中心的役割を担っています。現在、市の新しい将来像を「活力あふれ、豊かな心でふれあう阿南」とし、阿南の新しいまちづくりを推進しています。
市内の主要な河川には、那賀川、桑野川、福井川などがあり、これらはいずれも蛇行し急峻な山間部より市内を流下しています。川からは豊かな水と緑と文化の恩恵を受け一方で、過去幾多の洪水が発生し、浸水被害を受けてきました。那賀川及び桑野川では、近年においても大洪水が発生し、流域では家屋や田畑が浸水するなど大きな被害を受けました。また、福井川や岡川などにおいても、しばしば被害が発生しています。
このため、治水事業の推進は、当市にとって最重要課題となっています。
このような背景を受けまして、特に桑野川におきましては、平成11年6月梅雨前線豪雨災害を契機とする「桑野川災害復旧等関連緊急事業」の完成に引き続き、現在更なる治水安全度を向上するため、国による「床上浸水対策特別緊急事業」並びに県による「広域基幹河川改修事業」による整備を急ピッチで進めるなど、鋭意ご努力をいただいているところであります。
また、平成19年6月に策定された「那賀川水系河川整備計画」に基づく、今後とも計画的な河川整備の推進により、那賀川流域全体の治水安全度の早期向上に向けた取り組みにも期待するところは多大であり、国、県、市町、流域住民が一体となって安全安心の確保に努めてまいりたいと考えています。
市としても、地域防災計画やハザードマップ等に基づき、多種多様な災害に対応した総合的かつより有効な防災計画の確立をめざします。また、生活様式や高齢化に伴う災害弱者の増加等社会・経済の変化に即し、消防体制、救急救助体制の充実強化や市民一人ひとりの防災意識の高揚による予防対策の充実に務め、安全安心で災害に強いまちづくりを目指していきます。



牛岐城趾公園の夜桜LED装飾



オヤニラミ
環境省RDB準絶滅危惧種
徳島県指定天然記念物



新野西小児童によるオヤニラミ稚魚の放流